

1 事業概要

地域課題の解決やまちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進することをねらいとして事業を展開しています。泉区内に通学している大学生を中心とした参加者が地域の現状や課題について考え、学生の自由な発想で地域創造に向けて取り組みたいことを企画し、実施しています。

2 令和6年度の活動

今年度は、令和5年度「仙台市市民意識調査」報告書の結果を参考にして、仙台市や泉区が抱える現状を把握して、地域がより活発に活動することができるような取組みについて検討してきました。「子ども」「健康増進」「支え合って暮らす」をキーワードとして、それぞれに対するアプローチを月に一度の定例会で話合いました。仙台子ども財団で行っている「こども・若者会議」への参加や、レクリエーション研修会を開催してアイスブレイクやニュースポーツについて学びました。また、地域のイベント会社を訪問し、マーケティングの手法などの専門的な分析方法を学んだり、こども家庭庁が開催した「こどもまんなかアクションリレーシンポジウム in 仙台」では学生レポーターに挑戦したりしました。このように、世代間の交流を図ることができるようなイベントの企画に関する学びを進めてきました。



3 成果と課題

たくさんの人との出会いによって、視野を広げたり、積極的に意見を出し合ったりしながら活動することができました。他区との若者交流会やレクリエーション研修会では、中学生や高校生との交流で新たな視点を持つことができました。また、イベント会社訪問では、営業だけでなく地域に対する貢献活動の取り組みなどについても説明を受けて、社会人として生きていく上での大事な心構えなどを学びました。地域の方々が世代間の交流を図るためには、まずは自分たちがいろいろな世代の方に出会い、お話を聞かせていただくという姿勢を大事にしながら活動を進めてきました。一方、区内で行われているイベントに日程が合わずに参加できなかつたために、視野をさらに広げたり、地域の現状を知る機会を持てなかつたことが課題となりました。

4 今後の展望



令和7年2月に開催するイベントに向けて、準備を進めているところです。参加してくれた方々が楽しいと感じ、世代間の交流が促進されるように工夫を重ねていきたいと思えます。また、今年度は企画員が1名からスタートしたため活動がなかなか進められなかつたことを踏まえ、来年度に向けては早めに広報活動を進めて、企画員を増やしていきたいと考えています。